

白神岳、岩木山、八甲田山

東北の山 一人旅

日程 2016年8月22日～29日

- 8/22 敦賀港 10:00 発新日本海フェリー乗船 ～ 新潟港經由 秋田港へ
 - 8/23 秋田港 5:30 着～秋田駅～東能代駅（五能線）～白神岳登山口駅～白神岳へ（850m 付近で幕営）
 - 8/24 白神岳ピストン～白神温泉（静観荘）泊
 - 8/25 陸奥岩崎駅～弘前駅～百沢温泉（桜林公園キャンプ場で幕営）
 - 8/26 百沢コース～岩木山～嶽コース～嶽温泉～桜林公園キャンプ場で幕営
 - 8/27 青森在住の休会会員・片山裕さんと合流～弘前、青森市内見物～酸ヶ湯温泉（泊）
 - 8/28 酸ヶ湯温泉～毛無岱～八甲田山・大岳～仙人岱～酸ヶ湯温泉～青森市～夜行バスで東京へ
 - 8/29 東京～大阪～自宅
- メンバー 単独

東北には百名山となっている山だけではなく、魅力ある素敵な山がたくさんある。しかし、関西からは遠くてなかなか行けない山域である。

3月末に仕事を完全離職し、時間ができたことを利用して数年をかけて東北の山めぐりを行なおうと思いついた。山岳会の仲間に参加を呼びかけたが、長期の日程のため参加してくれるメンバーはおらず、単独行となった。東北山行第一弾として、今回は日本で初めて世界自然遺産に指定された白神山地の一角にある白神岳、独立峰の岩木山、高層湿原の美しい八甲田山の青森県内の三峰を計画した。後の二峰はロープウェー、リフトがあり、比較的身近な山となっているが、自分の足で登るとなるとなかなか手ごたえのある山であった。

ここに簡単に三つの山の紹介を行い、是非東北の山にも目を向けていただきたいを紹介する。

第一峰目 白神岳

とき 2016年8月23日～24 天候 晴れ時々曇り

****コースタイム****

- 8/23
白神岳登山口駅 12:20→登山口（休憩所）13:10
→二股分岐 14:10→最後の水場 15:10→ブナ林→マテ山分岐 16:00→マテ山ピストン 16:10→ビバーク地を探し、テント設営 16:30
- 8/24
幕営地 6:20→十二湖コースとの分岐 7:50→頂上手前の避難小屋 8:30→白神岳頂上 8:35（大休止）
→マテ山分岐 10:50→最後の水場 11:30→登山口（休憩所・大休止）13:00→白神岳登山口駅 14:00

コースの概要

最寄駅の白神岳登山口駅は無人駅。駅から国道を南に2分程のところ登山口の大きな道標があり、暫く舗装路を進むと立派なログ風のトイレ兼休憩舎がある。実際の登山口は少し先の林道終点のところである。白神岳へは、二股分岐までの道は比較的緩やかであるが、そこから徐々に傾斜が急となって来る。途中で何か所か胸突き八丁とでも言えるような急登があり、標高が1200m程の山なので軽く考えていたが、夏とはいえフル装備のため苦しい山行となった。ちなみに、二股分岐からの二股コースは、登山道の崩落等で現在は通行禁止となっている。白神岳頂上で避難小屋を利用する予定であったが、タイムオーバーと体力が持たず、途中の素敵なブナ林の中で幕営した。二日目は十二湖への縦走の予定であったが、前日に大分手前で幕営したため、時間的に厳しくなり、白神岳のピストンに切り替えた。白神岳頂上からの展望は、向白神岳をはじめ奥の白神山地も遠望でき、また日本海も望めてなかなか良い山であった。



1. 五能線・白神岳登山口駅



2. 国道に立つ道標



3. 登山口のトイレ兼休憩舎



4. 登山口に立つ世界自然遺産の解説版



5. 山行計画書の届け出ボックス
いよいよここから白神・ブナの森へ



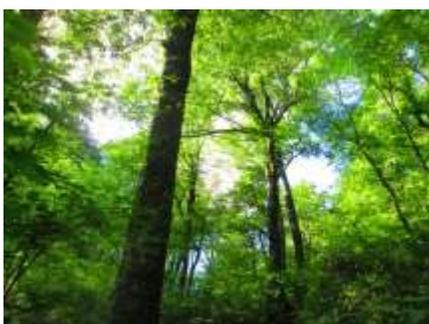
6. 最初はこんな道
大きなブナが迎えてくれる



7. 二股分岐（ちょっとピンボケ）
二股コースは現在通行不可



8. 「最後の水場」
ここで水をキープして先へと進む



9. 途中のブナの森



10. マテ山手前の急登
こんなのが随所にある



11. マテ山分岐の道標 マテ山は展望なし



12. タイムアウト。ブナの森で幕営



13. 翌朝、こんなブナ林の中を登る



14. 1000mを越した辺りから展望が開け、日本海を遠望する



15. 森林限界を超えた辺りから稜線が見えてきた



16. 稜線上に小屋（トイレ）が見え、その右に白神岳を確認。



17. 当初行く予定だった十二湖コースとの分岐



18. 頂上近くのしっかりした避難小屋



19. 頂上手前の標識柱 小屋に書いてあったが、ここを5分下ると水場があるそう



20. ここが白神岳頂上です 少し甘く見ていたが、フル装備の体にはきつい山でした。海拔ほぼ0mからの山です



21. 頂上からの展望 避難小屋の奥にあるのが向白神岳



22. これは避難小屋ではなくトイレ 登山道から見えていたのはトイレでした

ちょっとおまけです。



23. 頂上近くの登山道に咲いていたオヤマリンドウ？



24. ツリガネニンジンとアキノキリンソウ



25. キオン？



26. 下山後の宿 白神温泉・静観荘



27. 強酸性の硫黄臭たっぷりの温泉 右窓のすぐ外に五能線が走っており、窓越しにディーゼル列車が通るのが見える



28. 夕食のご馳走 ヒラメのお造り、アワビなどなど、海の幸一杯のご馳走でした。これで一泊二食 8000円(税抜き) 大満足でした

第二峰目 岩木山

とき 2016年8月26日 天候 曇り後雨

*****コースタイム*****

桜林公園キャンプ場 7:20→登山口 7:35→カラスの休場 8:15→鼻コクリの道標 8:25→焼けどまり避難小屋 9:40→錫杖清水 10:50→鳳鳴フェット 11:15→岩木山頂上 11:50→八合目リフト乗場 13:00→嶽登山道下山口 13:25→巨木の森との分岐 14:37→嶽登山道入口（嶽温泉）
嶽温泉入湯後、バスで幕営地へと移動

コースの概要

8/26 未明にテントをたたく大雨で登山を断念していたが、夜明け頃には雨はやみ、日がさしたので気を取り直して出発した。1000mの森林限界まではうっそうとした樹林の中の道となる。熊の目撃情報が多いとのこと、笛を吹きながらの行動となる。焼けどまり避難小屋から先は沢沿いの道で、濡れていることもあり緊張するコースである。下山には使いたくないコースである。
錫杖清水あたりから視界が開け、種蒔苗代からはアルペン的な景観となる。頂上周辺は岩礫帯で歩きづらい。あいにく途中から雨となり、頂上からの展望はなかった。帰りは嶽登山道の美しいブナ林の中を嶽温泉へと下山した。



1. キャンプ場を出発 (私一人きりの貸切でした)



2. 登山道はスキー場のロッジをくぐって行く



3. 岩木山は雲の中



4. 登山道入口



5. 焼けどまり避難小屋まではこんなうっそうとした展望のない樹林の中を行く



6. カラスの休場で、しばし私も休む



7. 鼻コクリ (鼻をこするくらい急な道とのことから名づいたらしい)



8. これが鼻コクリ?



9. 姥石を通過



10. 焼けどまり避難小屋
このあたりから雨が降り出す



11. 沢治いのやらしいレート



12. 錫杖清水の水場



13. 森林限界を越えて稜線が見えてくる



14. 種蒔苗代 このあたりからアルペン的な景観となる



15. 鳳鳴フツテ
地元の鳳鳴高校の生徒の遭難事故とこの小屋との関わりが銘板に刻まれている



16. この先が頂上



17. 岩木山頂上によりやく到着でも展望はまったくなし



18. 一等三角点



19. 頂上直下の避難小屋と立派なバイオトイレ (左)



20. 御倉石



21. 下山に使った嶽登山道の入口



22. 美しいブナの純林の中を下る
ブナをみの綺麗な森であるが、なぜか若い木ばかりであった



23. 巨木の森との分岐
巨木とあるので行ってみたかったが、時間がないのでパスした



24. 嶽温泉に到着 嶽登山道の入口

ちょっとおまけです。



25. 二夜を過ごした桜林公園はこんなところ
です。(帰りの日に写す。皮肉にもこの日
は晴天)



26. 嶽温泉の素朴な浴槽



27. 岩木山神社まで迎えに来てくれた青森
在住の休会会員の片山裕 さん。岩木山名
物の嶽きび(トウモロコシ)を食す



28. 弘前に移動して弘前城を見学



29. 田舎館村の有名になった田んぼアート
今年は真田丸



27. 田んぼアートの展望台から眺めた岩木
山 頂上は雲の中



28. 青森市に移動して縄文時代の三内丸山
遺跡を見学



29. 復元された大きなやぐら
何が目的の建造物なのか分かってい
ないらしい

第三峰目 八甲田山

と き 2016年8月28日

天 候 霧雨のち曇り

*****コースタイム*****

酸ヶ湯温泉 8:00→城ヶ倉への分岐 8:25→毛無岱
8:50→ロープウェイ駅との分岐 9:30→大岳避難小
屋 10:10→大岳頂上 10:45→仙人岱 11:40→酸ヶ湯
温泉 12:50

コースの概要

霧雨状態の中、酸ヶ湯温泉を毛無岱経由で大岳をめざす。はじめの登りはブナ林の中の緩やかな道をたどる。木道が現れたところが高層湿原の毛無岱。尾瀬とは違う地形に変化のある大きな湿原である。1000mを越えた辺りからハ緯度が高いためハイマツが現れる。上毛無岱あたりから風が強くなり、ガスも濃くなる。大岳頂上は360度の大パノラマだそうであるが、何も見えなかった。しかし、日本アルプスなら2000mを越さないと見れない高山植物たちがガスの中で迎えてくれた。下山は仙人岱経由のルートをとったが、なかなかの急斜面続きで、登りの場合はかなりきついコースである。今回、酸ヶ湯温泉を起点に周回コースで登ったが、八甲田山は山だけではなく、植物など自然観察するにも素敵な山であった。



1. 酸ヶ湯温泉の横手から出発



2. 最初はこんなブナ林の静かで緩やかな道を行く



3. 城ヶ倉温泉への分岐を通過



4. 木道の続く毛無岱(高層湿原)



5. ところどころにハイマツが生えている



6. 湿原の中のウメバチソウ



7. 上毛無岱へと続く長い階段



8. ところどころに池塘があり、ミツガシワ
があった。(水面上の手前の植物)



9. ロープウェイ駅との分岐を通過



10. 濃くなったガスの先の大岳避難小屋
ログハウスの立派な小屋でトイレもある



11. 大岳頂上手前のお花畑?のギボシ



12. アオモリトドマツ (オオシラビソ)、
樹上の実が美しい



13. 八甲田山・大岳頂上
ガスのためまったく展望がなく、残念



14. 頂上のイワギキョウの群落



15. ウメバチソウとイワギキョウなどなど



16. コケモモと赤い実 (ちょっと酸っぱい
がおいしい)



17. 要所要所にこんな解説板があって、勉強に
なる



18. 仙人袋の小岳への分岐を通過



19. 火山性ガスによる植物の立ち枯れの様
子



20. 酸ヶ湯温泉に下山
登山道入口には「日本山脈縦走起点 八
甲田 — 山口県秋吉台五千キロ踏破」とい
う木柱もあった



21. 酸ヶ湯温泉の全景
山の上は相変わらず雲の中、しかし、下界は
このような晴天だった。
今回の山旅はこれで終了。